

Sunhayato

接点復活王

ポリコールキング (PJKシリーズ)

技術資料

2010年11月16日発行

REV.1.02

SG043105



サンハヤト 株式会社

本社 〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-40-1
☎ 03-3984-7791 FAX. 03-3971-0535
<http://www.sunhayato.co.jp>

特徴

接点復活王(ポリコールキング)は、100%単一成分からなる化学合成の α オレフィン油に超微粒子のセラミック添加剤を配合した、高温に強く、湿気やガスバリアー性に優れた製品です。

1. ほんの少量を接点に吹きかけるだけで効果を発揮し、湿気などが原因で発生した接点部の錆び(金属の酸化物・硫化物など)の結晶に染み込み脆くし接点の摺動で除去します。これにより接点の接触が復活し更に油膜が綺麗になった接点(金属)面を保護します。
2. 接点に悪影響を及ぼす因子として、湿気の他に悪性ガス(HCl・SO₂)が考えられ、これらのガスに対しても殆ど吸収をせず、ガスバリアー性による接点の電蝕防止効果は抜群です。
3. 成分が単一の合成油の為、性能は吹いた瞬間から油膜が完全に無くなるまで全く変化しません。
4. 溶剤成分等を一切含みませんので、金属は勿論の事、ゴムや殆どの樹脂を侵しません。又、食用ではありませんが、毒性は一切なく、皮膚などを傷めません。

使用方法及び保管上の注意

1. スプレータイプと原液タイプが御座いますが、スプレータイプは塗布する接点面から 10cm 位離してスプレーして下さい。又、原液タイプはハケ等で塗って下さい。この際ハケなどが接点面に残らないように注意して下さい。
2. 接点がひどく汚れている場合は接点洗浄剤(RC-S201)で洗浄してから接点復活剤を塗布してください。又、接点面に錆びが発生している場合は一度接点復活剤を少量吹きかけ、錆びの結晶に接点復活剤が染み込む時間を置き、ころあいをみて接点を摺動させ、少し多めの復活剤で壊れた錆びを洗い流し、最後に仕上げに少量吹きかける。
3. 接点の断続の際接点面にスパークの飛び可能性のあるリレー接点へのご使用は避けてください。
4. 用途(接点復活・保護)以外でのご使用は避けてください。
5. 保管は直射日光を避け冷暗所をお願いします。

性状

1. 外観 : 無色透明な液体
2. 比重 : 0.821 (ASTM D4052)
3. 沸点 : 440
4. 動粘度 : 83.5mm²/S (ASTM D445) (20)
5. 引火点 : 270 (ASTM D93)
6. 凝固点 : -63 (ASTM D97)
7. 揮発度 : 1.8% (ASTM D972) (150)

電気的特性

1. 体積固有抵抗： $9.0 \times 10^{14} \Omega \text{cm}$ (JIS 6911-1979 5.13 に準拠)
2. 誘電率 : 2.1 (JIS 6911-1979 5.13 に準拠)
3. 誘電正接 : 9.0×10^{-4} (JIS 6911-1979 5.13 に準拠)
4. 絶縁破壊の強さ : 23kV (JIS C2101 に準拠)

合成樹脂に対する影響

- 1) 試験方法 : ポリコーリングを入れた試験管に樹脂片を入れ変化を観察する。
- 2) 試験条件 : 試験管ごと恒温恒湿装置に、5日間、10日間、15日間入れて変化を調べる。
- 3) 試験結果

樹脂名	試験時間	5日間	10日間	15日間
フェノール樹脂		変化無し	変化無し	変化無し
A B S樹脂		変化無し	変化無し	変化無し
スチロール樹脂		変化無し	変化無し	変化無し
メタクリル酸樹脂		変化無し	変化無し	変化無し
ポリカーボネート樹脂		変化無し	変化無し	変化無し
ポリアセタール樹脂		変化無し	変化無し	変化無し
エポキシ樹脂		変化無し	変化無し	変化無し
ポリアミド樹脂		変化無し	変化無し	変化無し
ポリイミド樹脂		変化無し	変化無し	変化無し
ポリビニールホルマール樹脂		変化無し	変化無し	変化無し
ポリプロピレン樹脂		変化無し	変化無し	変化無し
塩化ビニール樹脂		変化無し	変化無し	変化無し

悪性ガス中での接点面の変化及び接点復活剤の液中ガス濃度

1) 試験方法 : 吸引口付きのデシケーターを3個用意し、それぞれの中に通電状態になるようにセットした金メッキ端子のコネクター(接点部にそれぞれ、ポリコールキング・旧タイプのポリコール・他社製品を塗布した物)を置き、72 時間HClガスを注入する。同様にデシケーターを3個用意し、72 時間SO₂ガスを注入する。それぞれの条件での接点面の変化と接点面に付着する接点油剤の液中のガス濃度を調べる。

2) 接点の条件 : 銅の上にニッケルメッキ・その上に金メッキがかかったコネクター端子

3) 試験結果

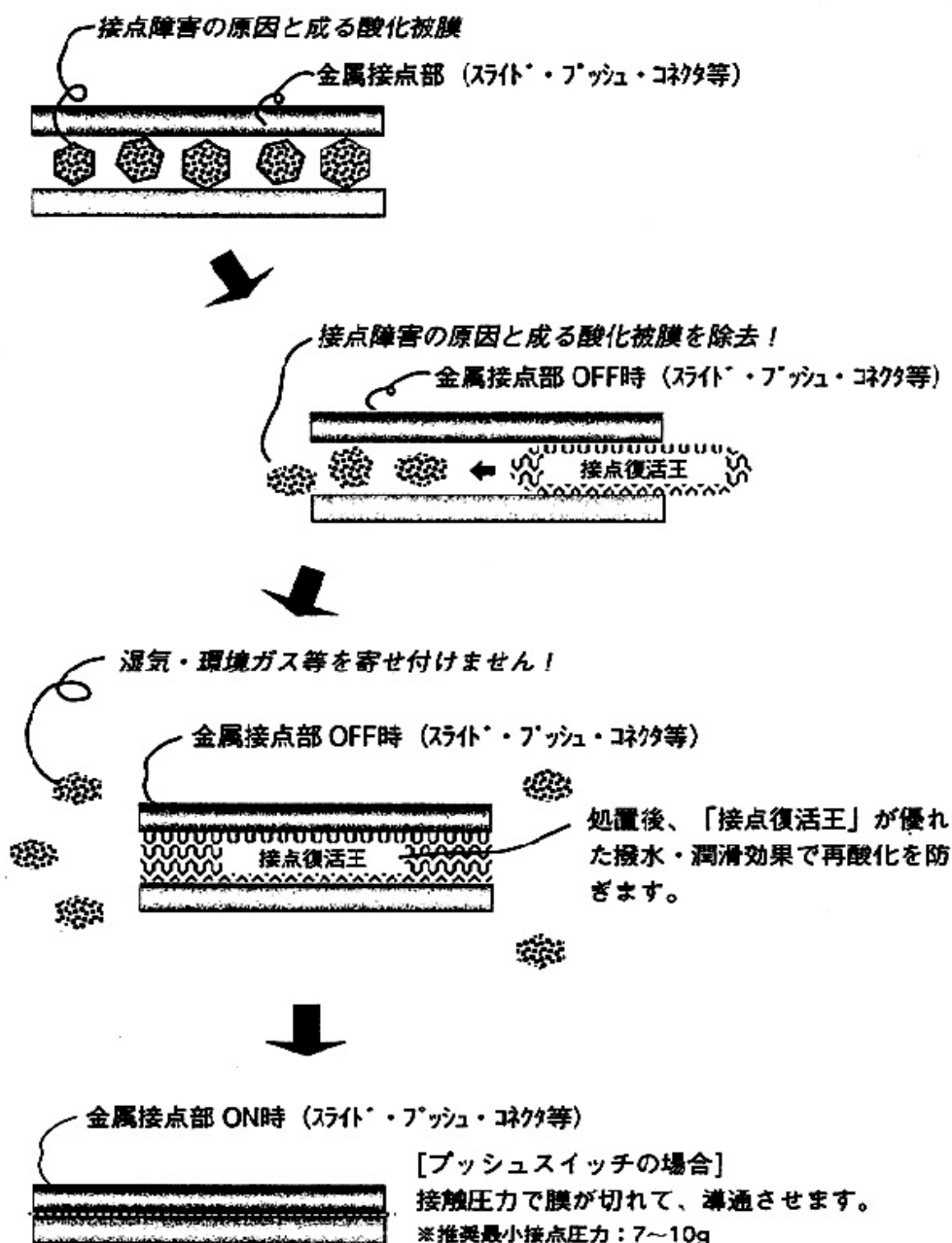
接点面の変化

	他社製品	旧ポリコール	ポリコールキング
HCl ガス(塩化水素ガス)	かなり腐食	かなり腐食	変化無し
H ₂ SO ₃ ガス(亜硫酸ガス)	僅かに腐食	かなり腐食	変化無し

それぞれの液中(油中)ガス濃度

	他社製品	旧ポリコール	ポリコールキング
HCl ガス(塩化水素ガス)	4700ppm	8000ppm	17ppm
H ₂ SO ₃ ガス(亜硫酸ガス)	2300ppm	6400ppm	14ppm

接点復活王の原理について



接点復活王 PJK シリーズ
技術資料

発行日 2010 年 11 月 16 日 Rev1.02

発 行 サンハヤト株式会社 化学製品開発部

住 所 〒174-0056 東京都板橋区志村 3 丁目 26 番 19 号

Tel/Fax 03-3965-6310

©2010 Sunhayato Corp. All rights reserved. Printed in Japan.

SG043105
